

2 学年だより

～時を守り，場を清め，礼を正す～

仙台市立高砂中学校
第2学年だより 第12号
2024. 1. 25 .

『一生の計は少壮（しょうそう）の時にあり』

新年になるとよく、「一年の計は元旦にあり」と言われます。「ことに当たっては最初にしっかりとした計画を立ててから臨むことが大切だ」という意味です。それが新しい年では、元旦にあたります。では、「一生」は？となると、「少壮の時」にあると言われます。「少壮」はこの頃あまり使われない言葉ですが、「若くて意気盛んな時期」のことで、10代に生涯で為すべきことを考えておくべきであるという意味です。

生徒の皆さんは、自分の人生の目標を考えているでしょうか。今、学校では進路（高校や職業）について学習しています。自分が将来やりたいことを考え、そのために今何をすべきか、どのような進路（上級学校）が自分に適しているかをそろそろ考える時期です。中学3年になってからでは入試が迫って、ゆっくり考えられませんので、2年生のうちに少しずつ、自分の考えをより確かなものにしてほしいと思います。

二者面談御協力ありがとうございました

お忙しい中、二者面談にお越しいただきありがとうございました。今後の学校生活に生かすことが多くあり、各クラスとも有意義な面談になりました。面談の中で、以下のような質問事項が多かったですので、お答えできる範囲ですが、返答を載せさせていただきます。

Q:本校の卒業生はどんな高校に入学していますか。

A: 公立高校では塩釜高校、仙台東高校、多賀城高校、宮城野高校、仙台工業高校、私立高校では、仙台育英学園高校、聖和学園高校などが入学生徒が多い高校です。4月の父母教師会総会の資料にも掲載されています。今後、総合的な学習の時間で、高校調べをする予定です。

詳しくは、宮城県教育委員会高校教育課ホームページ「求める生徒像・選抜方法一覧」各私立高校のホームページを御覧ください。



1/23 科学館学習のようす



1/23 科学館学習のようす



1/23 科学館学習のようす

第三者への公開・開示や不当な目的利用、複写及び複製等をお断りします。